

科目：国語総合	単位：4単位	35週×4＝140時間	学年：普通科 1年次（全コース共通）
使用教科書 高等学校 改訂版 新編国語総合（第一学習社）			

学習の到達目標	1. 国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高める。
	2. 思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにする。
	3. 言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。
	4. 国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

評価の観点				
a. 関心・意欲・態度	b. 話す・聞く能力	c. 書く能力	d. 読む能力	e. 知識・理解
国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。

	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価の観点					評価方法
			a	b	c	d	e	
4月	挨拶上手	<ul style="list-style-type: none"> 随想の読み方を習得する。 自分自身や自分を取り巻く世界について発見するきっかけとする。 	○			○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 指名音読 定期考査
	身近な動植物の名を覚えよう	<ul style="list-style-type: none"> 随想の読み方を習得する。 名前とはどういうはたらきを持つものか考える。 身近な世界に目を向けるきっかけとする。 	○	○		○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査
	資料に基づいて説明する	<ul style="list-style-type: none"> 資料を口頭で説明する際の留意点を理解し、実際に説明をする。 相手に必要な情報が正確に伝わるよう配慮することの重要性に気づく。 	○	○			○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 説明内容 ノート提出
5月	指	<ul style="list-style-type: none"> 短編小説のおもしろさを味わい、鑑賞のしかたを習得する。 登場人物の心情の変化を的確に読み取る。 小説を自分の経験に引きつけて読む態度を養う。 	○			○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 指名音読 感想文の提出 定期考査
	島の少年一船	<ul style="list-style-type: none"> 現代小説の基本的な読解方法を習得する。 登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取る。 小説を自分の経験に引きつけて読む態度を養う。 	○	○		○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 指名音読 感想文の提出 定期考査
	スピーチをする	<ul style="list-style-type: none"> スピーチをしたり聞いたりする際の留意点を理解し、実際にスピーチをする。 スピーチの意義や、スピーチによる交流の楽しみを理解する。 	○	○			○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 スピーチ内容 ノート提出 感想文の提出
	古文の学習	<ul style="list-style-type: none"> 古文を学習する意義を知り今後の学習に意欲を持つ。 古文と現代文の違いを理解し、今後の学習のポイントを把握する。 伝統的な言語文化への興味・関心を広げ、古典を尊重し継承していく態度を育てる。 	○			○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 指名音読

	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	a	b	c	d	e	評価方法
5月	鳩と蟻のこと	<ul style="list-style-type: none"> 古文を声に出して読み味わい、その調べに親しむ。 歴史的仮名遣いを理解する。 文語と口語の違いを理解する。 古文に親しみをもち、話のおもしろさを理解する。 	○			○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査
	一休ばなし	<ul style="list-style-type: none"> 古文に親しみをもち、話のおもしろさを理解する。 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 文語文と口語文の違いを理解する。 品詞の種類について理解する。 活用の概念を理解する。 係り結びの法則を理解する。 	○			○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査
6月	日本語のこころ	<ul style="list-style-type: none"> 論理的要素を持つ随想的に読解する。 身近な表現から、言葉を通して日本人の発想や心情などを理解する態度を養う。 日本語の特徴について考え、我が国の文化と外国の文化との関係に気づく。 	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査
	言葉の海のオノマトペ	<ul style="list-style-type: none"> 論理的要素を持つ随想的に読解する。 日本語の表現力・おもしろさに関心を持つ。 オノマトペを検証し、自身の表現力の向上を図る。 	○	○		○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査
	意見を述べる	<ul style="list-style-type: none"> 意見文の書き方を理解し、実際に意見文を書く。 意見文をもとに発表する。 意見文を書いたり他の人の意見を聞いたりすることにより、ものの見方や考え方を広げる。 	○	○	○		○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 意見文の提出
	漢文の学習	<ul style="list-style-type: none"> 漢文を学習する意義を知り今後の学習に意欲を持つ。 漢文を自国の文化に取り入れた先人の工夫を理解し、今後の学習のポイントを理解する。 我が国の文化と外国の文化との関係に気づき、伝統的な言語文化への興味・関心を広げる。 	○			○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 指名音読
	漢文入門	<ul style="list-style-type: none"> 漢文に親しみをもち、 漢文の構造を理解し、漢字・漢語の正しい意味・用法を理解する。 訓読のきまり・書き下し文のきまりを理解する。 漢和辞典の引き方に慣れ、学習に役立てることができるようになる。 古代中国人のものの見方・考え方を知り、それとの比較を通して、日本文化をより深く理解する。 	○		○		○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価、指名音読 学習課題集の提出 課題の提出 定期考査
7月	羅生門	<ul style="list-style-type: none"> 近代の代表的な小説を読んで、読解力を養う。 登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取る。 時代小説という形の中に普遍的な人間心理が描かれていることを理解する。 感想文を書いて作品鑑賞を深める。 	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 指名音読、学習課題集の提出 ノート、感想文の提出 定期考査
	創作をする	<ul style="list-style-type: none"> 創作のしかたを理解し、実際に創作をする。 創作をしたり読んだりすることにより、創作の楽しさを味わうきっかけとする。 	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 課題の提出
	児のそら寝	<ul style="list-style-type: none"> 古文に親しみをもち、話のおもしろさを理解する。 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 既習の知識をもとに、部分的な口語訳ができるようにする。 用言の活用について理解する。 	○		○		○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価、指名音読 学習プリント、ノートの提出 定期考査
	三文にて歯二つ	<ul style="list-style-type: none"> 古文に親しみをもち、話のおもしろさを理解する。 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 口語訳の力を身につける。 	○		○		○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価、指名音読 学習課題集の提出

時数	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	a	b	c	d	e	評価方法
10月	故事成語	<ul style="list-style-type: none"> 漢文訓読の基本事項を確認する。 平易な短い文章を読み、漢文の内容を理解する。 故事成語のもとになった話の内容を捉えたうえで、故事成語の現在使われている意味について理解する。 古代中国人のものの方・考え方を知り、それとの比較を通して、日本文化をより深く理解する。 	○			○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 指名音読 課題の提出 定期考査
11月	大切な言葉	<ul style="list-style-type: none"> 近代短歌の鑑賞のしかたを習得する。 近代短歌の代表的な作品を読み味わい鑑賞文を書く。 日本語への理解を深め想像力や感受性を豊かにする。 短歌の特徴について、興味・関心を持つ。 	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 鑑賞文の提出 定期考査
	言語活動 古典の和歌を現代の言葉で書き換える	<ul style="list-style-type: none"> 古典に関連する近代以降の文章を読んで、我が国の伝統的な言語文化に対するものの方、感じ方、考え方を深める。 和歌によまれた感情・情景を読み取り、自分のイメージと言葉で書き換える。 古典を現代の言葉で書き換えることで、伝統的な言語文化への興味・関心を広げる。 	○		○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度、発問評価 指名音読 課題の提出
	漢詩の鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> 唐詩を読み味わい、中国古典文学への関心を高める。 中国の自然や、人間の心理が、詩にどのようによまれているかを考える。 漢詩のきまり（詩形・押韻・構成・対句）について理解する。 詩に表現された作者の心情について理解する。 	○			○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価、指名音読 ノート、課題プリントの提出 定期考査
	言語活動 漢詩と訳詩を読み比べる	<ul style="list-style-type: none"> 解説を読んで、漢詩とその訳詩について関心を持つ。 原詩と訳詩を読み比べて、訳詩の情景や作者の心情を読み味わう。 課題について調べて、訳詩を作り発表する。 漢和辞典・副教材・図書館資料やインターネットを主体的に利用する。 	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価、指名音読 実習レポート ノート、課題の提出
12月	よだかの星	<ul style="list-style-type: none"> 童話的な作品の鑑賞のしかたを身につける。 生きることに對する思いと理解を深め話し合う。 個性的な文章表現を味わう。 	○	○		○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査
	ほねとたね	<ul style="list-style-type: none"> 短編小説の読解のしかたを習得する。 登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取る。 現代小説に触れ、小説を自分に引きつけながら読む姿勢を養う。 	○	○		○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査
	話し合いをする	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いのしかたや留意点を理解し、実際に話し合いをする。 話し合いを通して、問題の解決を図ろうとする姿勢を身につける。 	○	○			○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度、発問評価 ノート提出
	徒然草	<ul style="list-style-type: none"> 随筆を読んで、人間・社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。 助動詞について理解し、読解に生かす。 	○			○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度、発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査
1月	「ネットの時代」をどう生きるか	<ul style="list-style-type: none"> 評論の読解方法を身につける。 ネットの本質について認識を深める。 ネット社会での生き方について、自身の問題として考える姿勢を養う。 	○	○		○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査

時数	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	a	b	c	d	e	評価方法
1月	イースター島になぜ森がないのか	<ul style="list-style-type: none"> ・評論の読解方法を身につける。 ・生態系や自然破壊について認識を深める。 ・人類の存続という問題を自分の問題として考える姿勢を養う。 	○	○		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・定期考査
	ディベートで討論する	<ul style="list-style-type: none"> ・ディベートの形式と手順を理解し、実際にディベートを行う。 ・ディベートを通して、論理的な思考力や討論する力・説得する力・聞く力を身につけることの必要性を理解する。 	○	○	○		○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度、発問評価 ・ノート提出
	寓話・小話	<ul style="list-style-type: none"> ・まとまった文章の漢文に慣れ、訓読のきまりについて確認する。 ・寓話・小話の意味や教訓を読み取る。 ・中国古典に現代にも通用する考えがあることを理解する。 				○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度、発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・課題の提出 ・定期考査
	言語活動 故事成語の由来と意味を調べる	<ul style="list-style-type: none"> ・解説を読んで、故事成語とそのもとなった故事や逸話に関心を持つ。 ・課題について調べて文章にまとめたり発表したりする。 ・漢和辞典・副教材・図書館資料やインターネットを主体的に利用する。 ・故事成語のもとの意味と、現在使われている意味との違いについて理解する。 	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度、発問評価 ・指名音読 ・実習レポート ・ノート、課題の提出
2月	鉄道員	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の長編小説を読んで、読解力を養う。 ・登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取る。 ・登場人物それぞれの立場の心情を理解しようとする想像力を養う。 	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・定期考査
	調査をもとに報告する	<ul style="list-style-type: none"> ・レポートの書き方と発表のしかたを理解する。 ・実際にレポートを書き、それをもとに発表する。 ・レポートを書いたり他の人の発表を聞いたりすることにより、ものの見方や考え方を広げる。 	○	○	○		○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・レポートの提出 ・ノート提出
	方丈記	<ul style="list-style-type: none"> ・随筆を読んで、人間・社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。 ・無常観について理解し、日本文化の特質を考える。 	○			○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・定期考査
3月	鏡	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の代表的な作家による短編小説を読んで、読解力を養う。 ・登場人物の性格・心理・行動を正確に読み取る。 ・一人称の語りという表現形式の効果について考える。 ・「僕」の感じた恐怖とはどのようなものか考え、話合う。 	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・課題の提出
	人はなぜ仕事をするのか	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的要素を持つ随想を的確に読解する。 ・口語的な表現の効果について考える。 ・仕事をするものの意義について主体的に考え話合う。 	○	○		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・創作の提出 ・ノート提出
	奥の細道	<ul style="list-style-type: none"> ・俳諧紀行文を読んで、自然・人間などに対する作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・俳文における俳諧の役割を理解する。 ・俳文の省筆の効果を理解する。 ・俳諧を味読し、修辞技巧を理解する。 	○			○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・定期考査